

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書①

【 子ども・子育て未来プラン(第2期)の策定 事業】

記入日 令和 5 年 10 月 13 日

基本情報(A・B)

A) 施策、根拠法令等

担当部署	部	子ども未来部	課	子育て支援課	係	子育て推進係
基本施策	1	子どもたちの笑顔があふれるまちづくり			事業種別	市単独業務
分野別施策	施策1	-	1	子育て支援【重要施策】	継続・新規	継続して実施している事業
	施策1	-	2	子育て支援【重要施策】		事業予算額
展開方向		安心して子どもを生み育てることができる環境づくり			会計	一般会計
		子どもたちの成長と発達を支援する環境づくり			款	3 民生費
		支援や配慮を必要とする子どもたちを支える環境づくり			項	2 児童福祉費
根拠法令等 (あれば)	東大和市子ども・子育て支援会議条例				目	1 児童福祉総務費
					事業番号	8

B) 事業内容・対象

市の魅力向上に寄与する事業	○	人口減少抑制に寄与する事業	○
事業概要 (何をする事業か)			
<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援法に基づく市の「子ども・子育て支援事業計画」の策定 市長の附属機関で子ども・子育て支援の総合的かつ計画的な推進のために必要な事項を審議する「子ども・子育て支援会議」の運営 令和2年度に制定した「東大和市子ども・子育て憲章」の周知啓発 			
事業の対象	市民		

現年度(令和5年度)に実施中の事業について(C・D・E・F)

C) 目標・目指す状態 ※市民意識調査の結果を目標値にはできません(施策評価の目標であるため)。

※「〇〇意識を高める」「理解を深める」等といった成果が測れないものは不可とします。必ず効果が数値化できる目標にしてください。

目標・目指す状態			単位	目標数値
①	ニーズ調査・事業参加者アンケート等において、「東大和市子どもと大人のやくそく」(東大和市子ども・子育て憲章)を「知っている」と回答した割合50%以上		%	50
②				
③				

D) 前年度と変更した点はありますか? ※事業の実施を経て、見直し、解決すべきだと考えたことを元に変更した点

<input checked="" type="checkbox"/> 有	変更した点→	「東大和市子どもと大人のやくそく」の周知啓発において、子どもの権利について子ども自身がより意識できる方法を検討し追加した。
<input type="checkbox"/> 無	無の理由→	

E) 見直し状況

※変更(見直し)については、どの程度進んでいますか

令和4年度は中央公民館事業「遊空間」において、憲章に関するパネル展示と子どもの意見を書き込む取組を実施したが、令和5年度はパネル展示のほか、子どもが参加するワークショップを実施した。このほか、11月に産業まつりに出展し、憲章のPRとワークショップを実施予定。

F) 令和5年度中の進捗状況(予定含む) ※憲章周知啓発のみ

※進捗状況はなるべく時系列に沿って記入してください。

①	(5月) 児童福祉週間に合わせ、横断幕掲出
②	(7~8月) 中央公民館事業「遊空間」参加(パネル展示・ワークショップ開催)
③	(11月) 産業まつり参加(パネル展示・ワークショップ開催)
④	(11月) 啓発物品(カレンダー)配布(市内小中学校・市内公共施設)
⑤	(12月) 人権週間に合わせ、横断幕掲出、パネル展示
⑥	(2月) くらしの便利帳への掲載
⑦	(通年) 市公式ホームページへの掲載、市公式YouTubeへの動画掲載
⑧	(通年) 子育て支援課・保育課窓口の椅子カバー・机カバーへのプリントによる啓発
⑨	(通年) パネル掲示(市内小中学校)
⑩	(通年) タペストリー掲示(市内小中学校・保育園・公共施設)

ひがしやまとし こ おとな
東大和市 子どもと大人のやくそく (東大和市 子ども・子育て憲章)

れいわ ねん がつ にちぎけつ
令和2年2月21日議決
れいわ ねん がつ にち しせい しゅうねん きねん せいいてい
令和2年9月26日 市制50周年を記念して制定

ぜんぶん
(前文)

ゆた しぜん めぐ ひがしやまと す ひと みらい ゆめ きぼう もち いのち ひと たいせつ
豊かな自然に恵まれた東大和に住む すべての人が 未来に夢や希望を持ち 命や人とのかかわりを大切にし
あか げんき い おとな たが やくそく
明るく元気よく生きていくために 子どもと大人がお互に約束します

わたしたち 子どもは

げんき
すすんで元気よくあいさつをします

あそ まな きそくただ せいかつ
よく遊び よく学び 規則正しい生活をします

ひとり こせい たいせつ おも も
一人ひとりの個性を大切にし 思いやりを持って
こうどう 行動します

やくそく まも
約束やルールをしっかりと守ります

いじめはしません させません
こま そうだん
困ったときは すぐに相談します

ひがしやまと
ごみのないきれいな東大和にします

わたしたち 大人は

こころ よそ すこ せいちょう みまも
子どもの心に寄り添い 健やかな成長を見守ります

こ しんらい せいじつ い すがた み
子どもから信頼されるよう 誠実に生きる姿を見せます

こ さまざま こせい かんが かた みと かのうせい ひ だ
子どもの様々な個性や考え方を認め 可能性を引き出します

おとな じかく せきにん も
大人としての自覚と責任を持ち ダメなことをダメと言える勇気を持ちます

こ こころ からだ きず
子どもの心や体を傷つけることはしません
きづ て さ の
気付いたときは すぐに手を差し伸べます

ゆた しぜん まも れきし ぶんか つた
ふるさとの豊かな自然を守り 歴史や文化を伝えます

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書②

【 子ども・子育て未来プランの策定(子ども・子育て憲章の普及啓発) 事業】

記入日 令和 6 年 3 月 26 日

実績報告・事業分析

A) リアタイ評価会議での意見・助言等

- ① 最終的にどのくらいの周知を目指すのか(例: 東大和の小学生・中学生なら誰でも知っている等)、長期的な展望を持って啓発活動を推進・継続してほしい。
- ② 長期的な展望を元に、単年度ごとの「効果的な」周知・啓発活動を考えてほしい。

B) 上記意見を受けて、対応したもの 及び 参考としたもの

子どもだけでなく、幅広い世代に認知してもらうことをを目指し、子ども対象のイベント実施に加え大人も多く参加するイベントに出展し、参加型の内容を取り入れる工夫をし、令和6年度に実施する。

C) R5年度の実績(事業の実績を示す数値 又は 事業の目標としたものの結果) ※市民意識調査の結果は不可とします。

事業の目標としたものの結果		単位	目標値	R5実績値	【参考】R4実績値
① ニーズ調査・事業参加者アンケート等において、「東大和市子どもと大人のやくそく」(東大和市子ども・子育て憲章)を「知っている」「聞いたことがある」と回答した割合(0歳~小学生の保護者、中学生、高校生、若者の計)	%	50	45.4		
② // 中学生の割合	%	50	56.2		
③ // 高校生~40歳未満の若者の割合	%	50	27.7		

数値として出せる実績が得られなかった(下記にその理由を記載してください)

数値結果がない理由			
R5実績は去年と比べて	<input type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 例年通り <input type="checkbox"/> 低下した <input checked="" type="checkbox"/> その他	左記とした理由 又は 分析等(向上・低下した要因等) : R4以前は認知度を確認する調査等を実施していないため、不明。	

D) 分析(令和5年度の実績を踏まえて)

↓該当する1つに○をつけてください↓

①この事業の有効性は 費用対効果(コスパ)、執行体制の状況、手法として最適か 等	高かった	<input type="radio"/> 普通だった	低かった
①の理由 : 憲章の周知啓発を図ることで子どもの権利について意識を持つことができるため、継続的な活動をしていく必要がある。 啓発品の配布だけでなく、産業まつり等でのイベント実施等、権利について考える機会を通じ、最小の費用で啓発を進めている。			
②この事業に対する市民のニーズ、反応は 市民の反応等を踏まえて回答してください。	高かった (良かった)	<input type="radio"/> 普通であった	低かった
②の説明 : 学校を通じ、子ども版の説明冊子や啓発品の配布、イベント等を通じ、市内の小・中学生にはある程度周知が図れていると感じる。			
③この事業における市民協働・共創の余地は ※「市民協働」及び「共創」については別紙1をご確認ください。	多くの余地がある	<input type="radio"/> 余地がある	余地がない
③の説明 : 市民協働事業としていくことにより、更なる周知啓発が進むと考えられるが、大人に対する周知が向上することが必要であると考える。			
④この事業が今後市の類似事業と統合・再構築できるか ※市で行っている類似の事業がある場合のみ回答	可能である	<input type="radio"/> 検討の余地がある	不可能である
④の説明 : 12月の人権週間に地域振興課と共同で市民ロビーでのパネル展示を実施しているため、他に協働で啓発ができるか検討できる可能性があるが、完全な統合は困難と考える。			
⑤近隣市の類似事業と比較して充実している事業か ※近隣市に類似する事業がある場合のみ回答	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実
⑤の説明 : 近隣市で子どもに関する憲章を制定している市は2市あるが、啓発活動の実施内容が確認できなかった。			
⑥東大和市独自の個性を出している事業か	<input type="radio"/> 市の特長、個性を出せる事業である	他市と同程度 個性はない	
⑥の説明 : 啓発品として、市の名所をモチーフとしたカレンダーを作成し、憲章の周知啓発とともに市に親しみを持ってもらえるよう取り組んでいる。			

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書③

【 子ども・子育て未来プランの策定 (子ども・子育て憲章の普及啓発) 事業】

記入日 令和 6 年 3 月 26 日

反省・今後の方向性

A) 来年度以降の課題や見直すべき点		※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。
①	幅広い世代への周知について、より効果的な啓発方法を検討する	
②	子どもに対し、解りやすい方法で周知する内容を検討する	
③		
④		
⑤		

B) 来年（令和6年度）の取組予定		※事務予定または、改善事項を記入してください。
①	うまかんべえ～祭への参加（パネル展示・イベント実施）	
②	子ども対象の啓発講座の実施	
③		
④	※調書①に記載した令和5年度に実施した内容に加えて、実施予定の取組	
⑤		

C) 上記Bの取組にあたって必要な調整・準備事務等		※記入日時点で必要と考えられる準備事務について記入。
①	①のイベントの内容調整、備品の購入	
②	②の内容、講師調整	
③		
④		
⑤		

事業コスト (6 年 3 月 22 日 時点)

予算科目	款 項 目	3 2 1	事業番号	8	予算名称	子ども・子育て支援事業費
------	-------------	-------------	------	---	------	--------------

R5予算額及び決算額		※会計年度任用職員に係る経費（報酬等）は記入不要です。		単位：円	
R5予算額		R5決算額(暫定)		【参考】R4決算額	
事業費合計	484,000	事業費合計	355,600	事業費合計	144,540
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
7 報償費	55,000	7 報償費	19,000	10 需用費	144,540
10 需用費	99,000	10 需用費	99,000		
12 委託料	330,000	12 委託料	237,600		
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般	484,000	一般	600	一般	540
国		国		国	
都		都		都	
市債		市債		市債	
その他		その他		その他	